



真庭市立月田小学校 学校だより

大門坂

学び続け、豊かな心を持ち、
たくましく生きる子どもの育成



夏の大門坂

第5号

令和元年6月18日

校長 清友 尚 発行

月田小学校 ←

6月になり、一時期の暑さが少し和らいだようです。7日（金）には岡電ミュージアム（1～3年）・NHK岡山放送局（4～6年）・岡山県立博物館にバス遠足に行きました。生憎の天気で、残念な後樂園の散策はできませんでしたが、日頃できない体験をさせてくれた機会に恵まれました。昼食にお部屋を貸して下さった県立博物館では興味深い特別展も開催されますから、機会があらざひ、ご家族で足をお運びください。

上：NHK岡山放送局
下：県立博物館



きれいになったプールに水が入りました。今週から水泳指導が始まっています。昨年度は猛暑で、水泳指導もままならない状況だったと聞いています。真庭支部学童水泳記録会も中止を余儀なくされました。今年度も安全・安心を第一に考えて、指導を進めてまいりますので、ご家庭での協力をよろしくお願いいたします。保護者の皆様には夏休みのプール開放にもご協力いただくこととなります。6月29日（土）の救急法講習にもご参加をお願いいたします。



6月の目標は「友だちを大切にしよう」です。「いじめを考える週間」が始まった、3日の児童朝礼でこんな話をしました。

岡山県子どもいじめ防止宣言

いじめをなくすために私たちができること

- 何かされたり言われたりした人が、「辛いなあ」「いやだなあ」と感じたら、それが「いじめ」になってしまいます。したり言ったりした人が、「そんなつもりはなかったんだ」と言っても、されたり言われたりした側の気持ちの問題なのです。
- 友だちを大切にするためには、名前を大切にすることが大事です。学校では、下級生でも呼び捨てはやめましょう（言われていやな人がいるかもしれません）。授業中には「○○さん」「○○君」と呼び合いましょう。
- 皆が気持ちよく暮らしていくためには「相手の立場に立って物事を考える」ということが大切です。およそ2500年前の中国に、孔子という偉い方がおられて、その方の言葉が「論語」という書物にまとめられて伝わっています。「おのれの欲せざるところ 人にほどこすことなかれ」これは「自分がされていやなことは、人にするべきじゃないよ」という意味です。よい学校を作っていくためには、この考え方を大切にしてください。
- 岡山県には「子どもいじめ防止宣言」があります。最後にこれを紹介します（6年生3人に読み上げてもらいました）。

それは「気持ちのよいあいさつやあたたかい言葉を大切にすること」

それは「お互いに認め合い、人と人との絆を深めること」

それは「みんな仲良く、仲間と自分自身を大切にすること」

それは「見て見ぬふりをせず、悪いことは悪いと言えること」

それは「いじめを決して許さない強い意志をもつこと」

私たちは、いじめをなくし、みんなが笑顔でいられる学校を守っていきます。

運動会の日にはドローン撮影した、「令和」の人文書の写真を持ち帰らせています。写っているのが確認できましたか。この写真は月田コミュニティからいただいたものです。ありがとうございました。



6/4 5年郷原漆器体験& 6/6 4年環境出前講座

新聞やMITでも報道されましたが、6月4日（火）に5年生7名は郷原漆器の絵付けを体験をしました。この日講師としてお出でくださったのは「郷原漆器の館」館長高月国光さん、総社市在住の漆芸家塩津容子さんら4名でした。

まず郷原漆器の制作過程を映像で確認し、漆器の保温性を体感した後、実際に色漆で、思い思いの図柄を箸やスプーンに描いていきました。

かつて青森県の三内丸山遺跡から漆塗りの櫛が出土したことが話題になりましたが、人と漆器との出会いは、はるか縄文の昔にまで遡ると言われています。郷土に根づく伝統工芸を誇りと感じてもらいたいものです。

持ち帰った作品はぜひ使ってみてください。

また、6月6日（木）に4年生7名は、真庭市環境課の担当者による環境出前講座（資源循環とバイオ液肥）を受けました。

それによると、現在真庭市から出るゴミは年間14,000トン、人口が減少しているにもかかわらず、ゴミの量が変わらないという状況にあるそうです。ゴミ処理・尿尿処理にかかる費用は年間約9億円、こうした状況を打開するために、積極的に進められているのがゴミの分別収集です。

あわせて生ゴミから作られる「バイオ液肥」の説明を聞き、実際にプランターや菜園に使ってみました。

今後環境講座は、小水力発電（6年）・水辺の学習（5年）が予定されています。



「大門坂」のこと（其乃式）

この坂を登った所には確かに神社がありました。現在の月田小学校は、その参道中腹を削った高台に建てたものだったということです。しかしそれは「熊野神社」ではなく八幡神社、ご神体は現在春日神社に合祀されているというお話を聴きました。「当たらずも、遠からず」といったところです。

「月田の郷」P102には加藤良輔氏がそのことについて書かれています。

「（八幡神社の）社を『上の宮』。春日神社を「下の宮」と称え、どちらも勢力の強い大きなお社でしたが、明治42年（1909）10月村内一社の風潮に依り春日神社に合併されました。この時、各部落にあった小社もほとんど合祀の対象となりました。」

「月田村字大門」という記録もあるので、「大門坂」はこの地名由来のようです。熊野とは全く関係ありませんでした。（つづく）

トピック校長室③

「なぜ、英語教育は変化するのでしょうか？」

なぜ次期学習指導要領で、英語教育はこのような変化をするのでしょうか。

まず、グローバル化が進んでいる現状に対し、今までの学校教育ではなかなか身につけなかった「使える英語力」を、小学校から大学入試まで一貫した英語教育を行うことによって、きちんと身につけられるようにしていこうということです。小学5～6年生で英語を導入することにより、これまでよりも小・中で学ぶ内容の連携はよくなり、小・中・高できちんと英語の能力が積み上がっていくことが期待されています。

もう一つは、英語を学ぶことで人として豊かで幸せな人生を送るといことです。グローバル化が進む世界で、「友だちを作りたい」「情報や知識を得たい」と思った時に、英語ができるとより豊かで幸せな人生につながるでしょう。

これからの時代は、外国とは無関係だと思われていた真庭市の農家に、海外から「〇〇を売ってほしい」と連絡が入るようなことがあるかもしれません。端的に言えば、これからの時代はどんな場合にも、ある程度使える英語力を誰もが身につけられるように学校教育を変えていこうという考え方です。（つづく）

7月の主な行事予定

- 4日（木） 体重測定（低）
- 5日（金） 体重測定（高）/教育相談日
- 8日（月） 児童朝礼/着衣泳/わくわくタイム
- 9日（火） 保健委員会集会
- 10日（水） あいさつ運動/交通指導
- 11日（木） 6年配食サービス/SC来校/短縮5時間
- 12日（金） 読み聞かせ/地区児童会/短縮5時間
- 15日（月・祝） 海の日
- 16日（火） 短縮5時間/弁当給食
- 17日（水） 短縮5時間/弁当給食
- 18日（木） 短縮4時間/弁当給食（最終）
- 19日（金） 第1学期終業式/短縮3時間